



# かわおか



学校だより学校評価号

令和6年12月2日発行

自分も人もしあわせになる学校をめざして ~かしこくなる やさしくなる えがおになる~

## 前期学校評価アンケートからの分析・考察

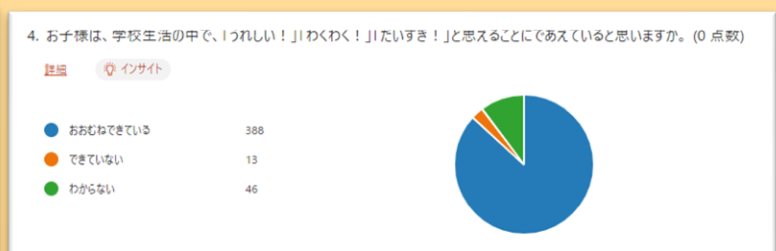
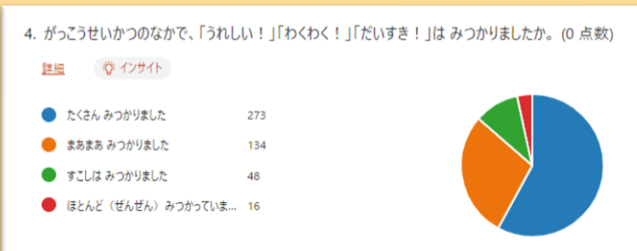
### ◆はじめに

今年度、「自分も人もしあわせになる学校をめざして」という学校教育目標を掲げ、様々な取組を進めています。しあわせになるために「かしこくなる」「やさしくなる」「えがおになる」ということが大切だと児童にも伝えていきます。「一度きりの人生を幸せに過ごしてほしい」そんな思いをもってかしこくなるためにどんなことをすればいいのかな。誰に対してもやさしくなるためにどんなことをすればいいのかな。自分も人も笑顔になる毎日になるためにはどうしたらいいのかな。と日々学校生活の中で考えながら毎日を過ごしています。

前期に行った学校評価についての結果をご報告いたします。今後の子ども達の成長につなげていきたいと思っております。今後どうぞよろしくお願いいたします。

4. がっこうせいかつのなかで、「うれしい!」「わくわく!」「だいすき!」はみつかりましたか? (児童)

4. お子様は、学校生活の中で、「うれしい!」「わくわく!」「だいすき!」と思えることにであえているとも思えますか。(保護者)



結果から、「うれしい!」「わくわく!」「だいすき!」が「たくさんみつかりました」と答えている児童は半数以上でした。また、「まあまあみつかりました」と合わせると8割の子どもたちが学校生活の中で「うれしい!」「わくわく!」「だいすき!」を見つけることができていることが分かりました。

保護者のアンケートの結果からも「おおむねできている」と8割の回答をいただきました。多数の子どもたちは、「うれしい!」「わくわく!」「だいすき!」を見つけることができます。しかし、少なからずできていないという回答もありました。そこには学校として真摯に向き合っていき、授業の中で、学級、学年、そして、学校の中で「うれしい!」「わくわく!」「だいすき!」の創造に力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

さらに、保護者の回答の中で、子どもの様子が「わからない」という回答も見られました。そのことから、学校から子どもたちの様子をどんどん発信し、学校の様子が伝わるように努めていきたいと考えています。

5. たのしみなじゅぎょう、はやくつぎもやりたいじゅぎょうはありますか。(児童)

5. お子様は、学校の授業・行事等に満足していますか。(保護者)



結果から、「たくさんあります」と答えている児童は半数以上でした。また、「まあまああります」と答えている児童と合わせると8割の児童が楽しみな授業があると答えています。このことから日々学校の授業の中でも「うれしい」「わくわく」「だいすき」を見つけることができているのだと思います。保護者のアンケートの結果からも8割強の皆様がおおむね満足しているにご回答いただいています。

授業を通して、子ども達が「わかった」「やればできる」「もっと知りたい、学びたい」を積み上げていくことが、子ども達の意欲につながっていくと思います。友達同士の関わりや、学校だからこそできることを授業の中にもたくさん取り入れ、教員一人一人が子ども達に届く授業を実践していきたいと思っています。

8. 「かがやみらいノート」でじぶんのためになるべんきょうをしていますか。(児童)

6. お子様は、すすんで家庭学習に取り組んでいますか。(保護者)



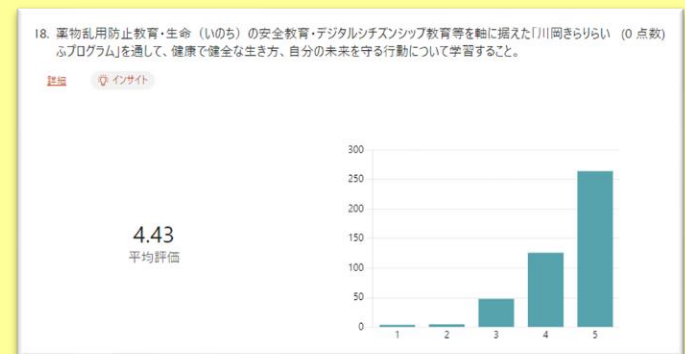
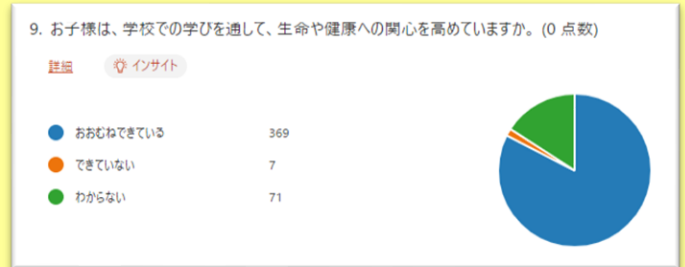
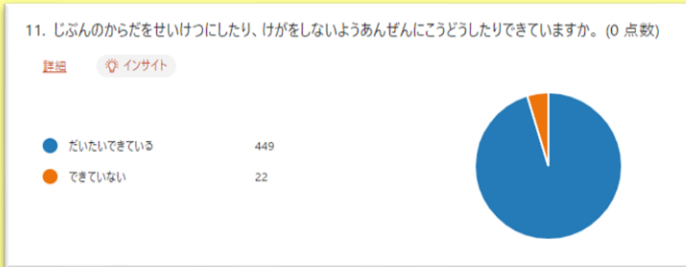
昨年度から、自らすすんで課題を見つけ、自分に合った学習をすすめていくかがやみらいノートに取り組んでいます。保護者の皆様にもたくさんご協力いただき、ともに児童の家庭学習を見守っていただいていると思います。その結果、前年度よりも自分のやりたいこと、やったほうがいいことを見つけ進んで取り組むことができている児童の割合は高くなっています。しかし、まだまだ「やらされている」という感じを持ちながら取り組んでいる児童もいるのが実状です。自分の力を伸ばすためのどんな学習が向いているかを共に考えていきたいと思っています。

保護者のアンケートからも家庭学習について約5分の1の割合で進んでできていないという結果でした。まだまだ、かがやみらいノートで学習することのメリットを感じる児童が少ない結果だと思っています。そのためにも、「かがやみらいノート」が児童の学力に大きな力になることを実感として感じられるようにしていきたいと思っています。

11. じぶんのからだをせいけつにしたり、けがをしないようあんぜんにこうどうしたりできていますか。(児童)

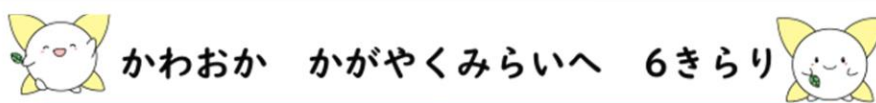
9. お子様は、学校での学びを通して、生命や健康への関心を高めていますか。(保護者)

18. 薬物乱用教室・命の安全教育・デジタルシチズンシップ教育等を軸に据えた「川岡きらりらいふプログラム」を通して、健康で健全な生き方、自分の未来を守る行動について学習すること。(保護者)



結果から子ども達の9割強の児童が「だいたいできている」と回答しています。昨年度から「きらりらいふプログラム」として自分のからだについて考える学習をどの学年でも実施しております。「薬物乱用教室」「生命の安全教育」「デジタルシチズンシップ教育」という3本の柱を中心として学習を進めています。子どもたちには、自分の体は自分で守るという意識を高めるため、学年の実態に応じた学習を行っています。例えば1年生では、「水分の取り方」について考えたり、3年生では「健康」ということについて考えたりしています。子どもたちがこれからも自分のからだに関心をもち、安全に生活できるように今後も続けていきたいと思ひます。保護者の皆様にも学校の取組がより伝わるように発信していきたいと思ひます。

川岡小学校全体で取り組んでいる「かわおかがやくみらいへ6きらり」です。学校で大切にしていることをおうちでも同じように大切にしていいただければよりよい成長につながると思ひます。今後どうぞよろしくお願ひします。



みんなでころくばり	まなびのころがまえ
すかひのあいさつ 「すんでーかおちみてーつでも」おたがいすとおんないがっこうを めごそう	あいさつ じゅぎょうはきもちのよいあいでつでほめ、きもちのよいあいでつじょう
ろうかはゆっくりしずかに じぶんともだちの あんぜんのために ひとのめいわくに ならないために	はなす はなすときは さくひとをみて、クラスのはしのひとまで きこえるこえではなそう
そうじそろえるあとしまつ きれいなきょうしつ きれいながっこう みんなが きもちよくすごせるように	かたづけ じゅぎょうにひつようのないものは ださずに かたづけよう
なふだをつけてなまえをだいじに ひとりひとりのたからもの おたがい たいせつにしていこう	へんじ なまえを ていねいにかいて あてられたら「はい」と へんじをしよう
じかんをまもる ごぶんまえこうどう まなぶじかん あそぶじかん たべるじかん むだにしないでいけい みんなのじかん	きりかえ じょうずな きりかえ、じかんを まもって じゅぎょうを はじめよう
みんながあつまるときのたいど すばやくそろって しずかにしゅうちゅう ころろひとに はじめられるね	きく きくときは てきとめて はなしているひとをみて ハンドサインをしよう

学校だけじゃなくおうちでも  
☑してみよう！  
毎日のあいさつは…  
学校であったことを話していますか…  
毎日鉛筆を削れているかな…  
持ち物に名前は書けているかな…  
時間を守って集団登校できているかな…  
誰に対してもしっかりとお話を聞いているかな…